

参加登録のご案内

参加登録方法・参加登録期間

ホームページより登録ください。 ※メール、電話、FAXでのお申込みは受け付けておりません。

ホームページ <https://www.ago.ac/3839th/>

登録期間 2021年2月1日(月)～2021年6月17日(木)

※6月18日以降の参加登録は受けできませんので、あらかじめご了承ください。
※コンビニ決済のご登録については、2021年5月20日(金)(払込期日:2021年5月28日(金))までとなります。



決済方法

クレジット決済・コンビニ決済

※コンビニ決済をご選択された場合は、代行業者[SMBC ファイナンスサービス]より払込用紙をお送りします。
ご登録は、ご入金をもって完了となります。

学術大会参加費

	一般会員/準会員 ^{※1} /賛助会員 ^{※2}	非会員(税込) ^{※3}
歯科医師	¥20,000	¥25,300
歯科技工士	¥8,000	¥11,000
歯科衛生士	¥8,000	¥11,000
歯科助手	¥8,000	¥8,800
臨床研修医・学生	準会員 無料	¥1,100
企業のみなさま	¥5,000	-

※1 準会員とは……会員の臨床研修医及び大学生・大学院生(社会人大学生を除く)です。
※2 賛助会員とは……当学会会員の企業です。
賛助会員企業の社員様も学術大会聴講者としてご参加いただけます。
※3 非会員の参加費は消費税が加算されます。あらかじめご了承ください。
※4 会員の参加費は消費税の課税仕入れには該当しません。(不課税)

《注意事項》
・一般会員、準会員は事前に入会手続きが必要となります。お手続きに数日かかりますので、お早めにご入会手続きをお願いいたします。
・非会員で参加登録したのちご入会された場合、差額分のご返金はできませんのであらかじめご了承ください。
・同一名での複数登録・代理登録はできませんのでご注意ください。
・日本歯科医師会にご所属の先生は生涯研修登録が可能ですので、学術大会ホームページ内の登録フォームより、参加登録完了後ご登録ください。

《ご入会について》

日本顎咬合学会ホームページよりお手続きください。 <https://www.ago.ac>
入会金、年会費は一般会員・準会員では異なります。(一般会員)入会金:4,000円 年会費:15,000円 (準会員)入会金:1,000円 年会費:2,000円
詳しくはHPをご覧ください。

WEBオンデマンド配信・ID&パスワード発行

今大会は、WEBオンデマンド配信となりますので、配信期間中であればいつでも受講いただけます。

お使いのパソコン環境で動画が再生可能なか、必ず事前にテストページで動作確認を行ってください。
参加登録・ご入金確認後、WEBオンデマンド配信URLとID&パスワードをE-mailにて発行いたします。

URL、ID&パスワードの発行日(予定)：2021年5月28日(金)までにお支払い済みの方は、5月末に発行、それ以降のお手続きの方は翌営業日に発行を行います。

抄録集の発送について

会員・準会員・賛助会員	全会員に5月上旬に発送予定 ※ただし、2020年度年会費納入済の方に限ります。
非会員の参加登録の方 臨床研修医・学生	5月末までに参加費お支払い済みの方 → 6月上旬発送予定 それ以降に参加費お支払いの方 → ご入金確認次第随時発送 ※ただし、会期直前・配信期間中の参加登録の場合は、配信期間終了後の発送になる場合もございます。

総会については詳細が決定期間、ホームページにてご案内いたします。

お問い合わせ先 日本顎咬合学会 平日10:00～17:00

●学術大会に関するお問い合わせ
TEL 03-3261-0474 FAX 03-6675-9539
E-mail gakujujtsu@ago.ac

●入会・単位その他に関するお問い合わせ
TEL 03-6683-2069 FAX 03-6691-0261
E-mail nichigaku@ago.ac

第38・39回 日本顎咬合学会 学術大会・総会

真・顎咬合学

今こそ団結！臨床力を磨く



特別講演：Brian Mealey
大会長：黒岩 昭弘

2021

LIVE 実開催・LIVE 配信
STREAMING 6.12 sat / 13 sun
東京国際フォーラム hall C

ONDEMAND オンデマンド配信
6.12 sat - 21 mon
WEB オンデマンド配信 10日間

公開フォーラム I・II

I 超高齢社会における歯科の役割

II 口腔がん

LIVE 6.12 sat 13:30-16:30

LIVE 6.13 sun 13:30-16:30



THE ACADEMY OF
CLINICAL
DENTISTRY



実開催・LIVE配信

2021年6月12日(土)・13日(日) 東京国際フォーラム ホールC ※公開フォーラムの会場参加は別途お申込みが必要です。(2021年4月申込開始予定)



公開フォーラムⅠ



「超高齢社会における歯科の役割」

6月12日(土) 13:30~16:30

厚生労働省は2025年を目途に高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもと、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を呼びかけ、医療・介護・福祉が互いに連携する「包括ケア」という考えも定着しつつあります。そこで認知症専門医、歯科医師、医療ジャーナリストを招き、超高齢社会で歯科がこれから何が出来るのかを、各々の切り口でご講演いただきます。

- 河原 英雄 「入れ歯」で噛む(20分)
- 竹内 孝仁 なぜ義歯を調整すると寝たきりが歩けるのか—噛と歯(30分)
- 長谷川 嘉哉 認知症専門医が教える! 脳の老化を止めたければ歯を守りなさい!(60分)
- 榎田 耕一郎 おいしく、楽しく、美しく 摂食機能の実力—認知症とのかかわり—(30分)
- 油井 香代子 患者の期待を担う超高齢社会の歯科医療(15分)
- ディスカッション
- 座長: 上濱 正, 南 満和



公開フォーラムⅡ



「口腔がん」

6月13日(日) 13:30~16:30

口腔がんはまだまだ患者さんの認知度が低く、早期ではほとんど自覚症状がないことから、受診が遅れることがあります。がんが進行してからの治療は患者さんの大きな負担となりがねません。早期発見・早期治療の重要性を歯科医師・患者さん双方へ周知する必要があります。そこで今回の公開フォーラムでは、専門家の立場から、口腔がんの分野に見識の深い柴原孝彦先生、嶋田淳先生、また舌がんを克服された女優の堀ちえみさん、そして専門でありご自身もがんサバイバーでもある日本対がん協会会長の堀添生先生をお招きし、ご講演いただきます。

- 柴原 孝彦 口腔がん(35分)
- 堀 ちえみ (タレント) 口腔がんを乗り越えて ~今だからこそ知って欲しいこと (仮) (35分)
- 嶋田 淳 口腔がんの診断と治療 (35分)
- 堀添 生 患者さんのQOLを重視したがん治療(35分)
- ディスカッション
- 座長: 今井 裕



オンデマンド配信

各講演時間 30分(予定) オンデマンド配信期間: 2021年6月12日(土)~21日(月) 10日間 配信期間中、いつでも聴講可能

特別講演: 歯周病



▶ Periodontal Medicine: The Oral-Systemic Connection

Brian Mealey

咬合再構成



- ▶ 「咬合再構成」を再考する ~矯正治療・補綴治療~ 高井 照子
- ▶ 咬合再構成を極める 歯列不正、歯周疾患、多数歯欠損を読み解く 上田 秀朗
- ▶ オーラルリハビリテーション理論にもとづく 壊れない長期安定する咬合治療 南 満和

歯内療法



- ▶ 根管処置のあとを考慮する根管治療 金沢 純史
- ▶ マイクロネイティブ世代が考える 再根管治療のキーポイント 吉岡 俊彦
- ▶ GPIによるGPのための歯内療法の実践 松延 允貴

小児・矯正

矯正



- ▶ LOTに有効なメカニクス 松崎 浩成
- ▶ 診療に役立つ部分矯正のポイント ~部分矯正でどこまで治せるか~ 米澤 大地
- ▶ 包括歯科臨床におけるLOTの役割 高井 武男
- ▶ こんな時どうする? 矯正治療の応用法 ~実践臨床テクニック~ 大甲 奈津貴

小児歯科



- ▶ 萌出障害に取り組むための視点と注意点 石谷 徳人
- ▶ 小児歯科はチーム医療 ~それぞれの役割~ 土岐 志麻
- ▶ 「子どもの口腔機能発達から健康を考える」 ~健康寿命を延ばすために小児期からのアプローチ~ 中村 佐和子

歯周治療

歯周病学総論

- ▶ 全身に災いを 健やかなお口
- ▶ なぜ歯周病に

歯周治療連携

- ▶ 心を動かすモ
- ▶ 質の高い歯周 ~威力と意義~
- ▶ 補綴治療で必 ~歯科衛生士、歯

歯周再生療法

- ▶ 歯周組織再生

進化し続ける

- ▶ 歯周再生療法
- ▶ エナメルマトリ
- ▶ 歯周組織再生

若手歯科医師

- ▶ 歯・歯列・イン
- ▶ 審美的・機能!

- ▶ 多数歯う蝕に
- ▶ 咬合再構成を

- ▶ 下顎位を三
- ▶ 咬合再構成し

トピックス

チタン鑄造



- ▶ ここまでできるチタン鑄造 黒岩 昭弘
- ▶ チタン技工のTips 伊比 寛

支台歯形成



- ▶ 失敗の少ない歯肉圧排・印象採得 山本 真道

移植・再植



- ▶ 天然歯を活かす移植・再植治療 ~その歯、まだ使えませんか?~ 平井 友成

マイクロスコープ



- ▶ 見て!マイクロスコープで分かること、出来ること。 堀田 太, 小林 隆

口腔内写真



- ▶ 口腔内写真撮影とシェードテイクにおける 基礎知識 岩崎 智幸

咬合学



- ▶ 補綴装置の治療成績と欠損歯列の 経時的変化から考える補綴治療 古谷野 潔
- ▶ 欠損補綴をLongevityから考察 ~咬合支持と咬頭咬合位の安定~ 本多 正明

義歯



- ▶ パーシャルデンチャーの臨床 菅野 博康
- ▶ リム・バブルパーシャルデンチャーを 再考する 寺西 邦彦
- ▶ デジタル時代を見据えた オルタードキャスト法の再考 亀田 行雄
- ▶ Denture Designerへの道 川島 碧
- ▶ 咬合高径・咬合平面・下顎位、人工歯ポジション などの設定の仕方について 松本 勝利
- ▶ 下顎高度吸収顎堤症例に対する 吸着義歯での対応法 佐藤 勝史
- ▶ 総義歯臨床を失敗しないためのポイント 松丸 悠一

デジタルデンティストリー



- ▶ デジタルデンティストリー 梅原 一浩
- ▶ 3Dデータの臨床応用 山下 領彦
- ▶ デジタルデンティストリーの 現在と未来における可能性

CAD/CAM



- ▶ AnalogからDigitalへ ~日常臨床での応用~ 貞光 謙一郎
- ▶ 口腔内光学スキャナーによる デジタルデンティストリーの進化 新村 昌弘
- ▶ これだけは知っておきたい デジタル技工の基礎知識 川内 大輔

インプラントGBR



- ▶ インプラント治療における 歯槽骨造成術のガイドライン 堀内 克啓
- ▶ サイナスリフト臨床最前線: サイナスリフト難易度分類(ST分類)を把握して トラブルを回避しよう! 菅井 敏郎
- ▶ 審美領域や多数歯欠損を伴う大きな骨欠損 部へのGBRの限界と可能性 白鳥 清人
- ▶ インプラントの咬合支持要素としての重要性 横山 隆道

経営・コミュニケーション

経営



- ▶ 幸せな職場のつくり方 関部 義明

コミュニケーション



- ▶ 信頼関係を構築する質の良い会話のための スキル 濱田 真理子
- ▶ 伝えかた改革 ~臨床現場における伝え方のコツ~ 柴原 由美子
- ▶ 難しい患者さんとのコミュニケーション 井上 和
- ▶ コミュニケーションの質を変える人間力 水木 さとみ

審美修復



- ▶ コンポジットレジンを用いた 審美修復の臨床 宮崎 真至
- ▶ デジタルデンティストリーにおける 審美修復治療の今と未来の展望 北原 信也
- ▶ 日常臨床に活かす コンポジットレジン修復 飯田 真也

顎関節症・TCH

顎関節症



- ▶ 難症例から考える顎関節症治療の基本 ~症例より見えてくるもの~ 嶋田 淳
- ▶ オクルーザルアプライアンスを応用した 顎関節症の治療 ~あなたのアプライアンスはなぜ効かないのか~ 石川 忠
- ▶ 顎関節症治療に必要な思考力 ~構成組織の形態と構造と機能~ 松島 正和

TCH



- ▶ TCHマネジメントとリハビリトレーニングで 治す顎関節症 木野 孔司
- ▶ 臨床に取り入れるTCHコントロール ~100歳まで自分の歯で~ 齋藤 博
- ▶ 顎口腔系に対するTCHの関わりとその対応 永田 省蔵

オンデマンド 企業展示

オンデマンド企業展示会を実施いたします。
出展企業のみなさまのPR(新商品・新規事業など)ページの他、リモート会議アプリを利用したミーティングルームも開設いたします。
企業の皆さまと会員の皆さまとの交流の場としてご活用ください。

会員発表 (口演、ポスター)

第38・39回学術大会の会員発表は2020年第38回学術大会にエントリーされた方の抄録の掲載をもって誌上発表とし、単位を付与します。
さらに希望される方はオンデマンド配信による口演発表、ポスター発表も可能です。

DTプログラム

DT

- ▶ 総合病院における歯科技工士の役割
—高齢者に対する取組み— 外口 晴久
- ▶ 前歯でもかめる総義歯で健康寿命UP! 松岡 金次
- ▶ 歯科技工士として治療に関わることの重要性 中村 悠介

DHプログラム

DH DA

- ▶ メインテナンス治療における
歯科衛生士の役割 村上 恵子
- ▶ DH対応を的確に行うための
患者資料の活かし方 丸山 葉子
- ▶ 患者に気付きを与える指導 津曲 祐子
- ▶ 歯周基本治療を理解しSRPを極めよう 池田 育代
- ▶ 歯科衛生士の全身管理スキルを
日常臨床にいかそう 中澤 正絵

教育講演

倫理

Dr. DT DH DA

- ▶ 臨床研究における倫理審査の必要性 上野 道生

利益相反・COI

Dr. DT DH DA

- ▶ COI(恋!?)に恋をして 菅野 詩子

論文

Dr. DT DH DA

- ▶ 臨床研究と症例報告のガイダンス 関野 倫

メーカープログラム (50音順)

カボデンタルシステムズ株式会社 <企画>

株式会社ジーシー <企画>

株式会社松風 貞光 謙一郎

ジンマー・バイオメット・デンタル合同会社 <企画>

株式会社トクヤマデンタル

- ▶ オムニクロマのもたらす革新の保存修復治療 岩崎 圭祐

- ▶ 装着体験から義歯の裏装を語る
～光硬化型裏装材トクヤマヒカリライナーの活用テクニック～ 村岡 秀明

Planmeca Japan 株式会社

- ▶ 診断革命
～歯内療法におけるCBCTの活用法～ 倉富 寛

株式会社メガジェンジャパン 有賀 正治

株式会社茂久田商会 <企画>

株式会社モリタ <企画>

株式会社ヨシダ <企画>

他

【募集中】

プログラムは、2020年12月16日現在の内容です。

Dr. DH

らす歯周病、
康長寿の秘訣! 西田 互
力? 歯周病の最新病因論
天野 敦雄

Dr. DH

ーション 小牧 令二
治療で治る! 牧野 明

咬合の情報
士の連携のために～ 遊亀 裕一

Dr. DH

の近未来を俯瞰する
村上 伸也

組織再生療法は今
水上 哲也

症例から学ぶ一 申 基祐

スデリバティブを応用した
木村 英隆

専門(支部選抜発表)

Dr. DT

の長期安定を考慮し
を図った咬合再構成症例
安永 賢史(北海道)

- ▶ 多数歯欠損患者に対しインプラントを用いて
咬合再構成を行った症例 鈴木 英史(中部)

咬合崩壊した患者に対し
1症例 阿部 公人(東北)

- ▶ 多数歯う蝕により咬合崩壊した患者に対して
行った咬合再構成症例 大塚 淳平(近畿・中国・四国)

に検討し
例

- ▶ Dental Erosion に対しMIを考慮して
全顎的修復を行った1症例 赤間 廣輔(九州・沖縄)

小林 友貴(関東・甲信越)

大会長挨拶 真・顎咬合学 今こそ団結! 臨床力を磨く



第38・39回学術大会開催についてご挨拶

第38・39回学術大会 大会長 黒岩 昭弘

特定非営利活動法人日本顎咬合学会 理事長

皆さんいかがお過ごしでしょうか。コロナ禍と言われて久しくなります。With Coronaでうまくつき合っていこうと言われていますが、罹患することは会員の一人ひとりが大きな代償を払うこととなります。私が知る限り歯科関係でも幾人かの方が罹患したことが耳に入っております。関係された皆さまには心からお見舞い申し上げます。感染しないように十二分にご注意ください。速やかな終息を心より祈念しております。

今年度は感染のリスクを考え学会活動を控えてまいりました。しかし、学会開催を安全に尚且つ日本顎咬合学会らしく開催するにはどうすればよいかを、プログラム委員会を中心に役員総出で考えてまいりました結果、第38・39回学術大会は十分な安全対策を考慮し、開催方法を下記内容で構築いたしました。

- ①実開催とWEB配信を併せたハイブリッド開催にて行う、
- ②演者は第38回学術大会を延期しましたので、その大会の講師を中心に選出、
- ③シンポジウムではなく単独で話していただける内容から演者約100名をノミネート、
- ④公開フォーラムはシンポジウムを中心に実会場とともに、LIVE配信を実施する、
- ⑤会員発表は抄録をブラッシュアップして誌上発表とし、発表希望者は別に対応する、
- ⑥賛助会員の皆さまにも会員に有益な情報提供の場を設ける、
- ⑦利便性を考えオンデマンド配信期間を2回の土日を含む10日間とする、
- ⑧会費はハイブリッド開催が中心なので、実開催よりも低く設定する、
- ⑨これまで記念大会のみであったオープン参加も導入する、

最近どこでもWEB開催中心なので、アクティビティの観点から実際に人と人が会って学会を開催したいとの意見も聞かれますが、学術大会の開催で感染者が発生することは会員の皆さまに直接ご迷惑をおかけすることであり、理事長である私が望みません。私の考えを理解し苦渋の選択をしていただきました執行部の先生方、プログラム委員の先生方には心から感謝申し上げます。

さあ、第38・39回学術大会・総会が開催されます。通常開催では講演数が多くてすべての講演を聴くことができなかった皆さまも、今回は何時でも何処でも何度でも聴講できます。是非とも多くの方が参加されますよう、オープン参加ですので『面白い』『役に立つ』と思われた方は是非ともお知り合いをお誘いください。

会員の皆さまに直接お会いできないのは寂しいですが、これは人と人の繋がりの大切さが実感できるチャンスをいただいたこととして、第38・39回学術大会は国民の安全のためにWEB形式の学術大会で研鑽を積み、実践した証として来る第40回記念学術大会で貴重な経験を語らしましょう。

特別講演



演 題 Periodontal Medicine :
The Oral-Systemic Connection

演 者 Brian L. Mealey, DDS, MS
UT Health San Antonio School of Dentistry

略 歴
1990 MS
Periodontics —University of Texas Health Science Center San Antonio , TX
1990 Residency
Periodontics —Wilford Hall Medical Center Lackland Air Force Base , TX
1984 Residency
General Dentistry — USAF Hospital Barksdale Air Force Base , LA
1983 DDS
Dentistry(Omicron Kappa Upsilon) —University of Texas Health Science Center
San Antonio , TX
Zoology —Texas A & M University College Station , TX